

# 《宇都宮大学との共同研究》 次期候補地選定にあたり

## 次期候補町は塩谷町、高根沢町、喜連川町のいずれかに

次期候補地については、かねてより松島、小入、早乙女の3行政区より、早期決定をしてほしい旨の申し入れを受けており、平成14年1月28日の塩谷広域行政組合議会全員協議会で、現在、迷惑施設の無い塩谷町、高根沢町、喜連川町のうちから、本年12月末までに1町に絞り込むことで、意見の一致をみております。

また、平成14年9月10日に松島、小入、早乙女の3行政区と塩谷広域行政組合とが交わした「焼却施設改造工事に関する協定書」の中でも、これを踏まえた協定を締結しています。

## 研究目的

氏家町松島地区にある塩谷広域環境衛生センターの焼却施設及び粗大不燃物施設を10年以内に移転できる候補地選定にあたり、候補町絞り込みの参考資料を宇都宮大学と共に科学的、合理的な選定方法を調査研究するものであり、自然条件的、社会条件的側面を科学的シミュレーションにより提示するものです。

## 研究プロジェクト・チーム

### 宇都宮大学研究者

氏名	所属部局・職名	役割
北島 滋	宇都宮大学副学長（国際学部教授）	研究総括責任者
酒井 豊三郎	農学部生物生産科学科教授	地質面からの研究
今泉 繁良	大学院工学研究科エネルギー環境科学専攻教授	工学面からの研究
陣内 雄次	教育学部家政教育専攻助教授	地域計画面からの研究
中村 祐司	国際学部国際社会学科助教授	行政面からの研究

### 市町研究員（市町の資料調査・分析・提供）

矢板市	環境課長	得納基市	高根沢町	環境課長	小林秀男
塩谷町	住民課長	吉成 實	喜連川町	住民課長	角田 壽男
氏家町	住民課長	斎藤 充夫	塩谷広域	管理課長	黒須 敏文